

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出金						事業コード	030103420265						
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実							
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり				施策コード	611							
事業担当	所属	080200 総務部財政課				所属長	伊達 大史							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	122	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (府負担事業、特別会計への繰出金)													
関連事業	後期高齢者医療事業特別会計各事業													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 後期高齢者医療制度とは、75歳以上の人が及び65歳以上75歳未満の一定の障害がある人で京都府後期高齢者医療広域連合の認定を受けた人を対象とする医療保険制度。 後期高齢者医療事業特別会計は後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るために設置するものであり、保険料等の特定の収入を基に事業運営を行う。													
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 後期高齢者医療事業において、保険料等の収入のみでは安定した運営ができないのが実情である。													
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療事業特別会計に対して繰出を行うことで、高齢者の安心した生活や健康づくりの取組に寄与する。													
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人件費、その他後期高齢者医療事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。													
対象者	—				対象者数	—				単位あたりコスト	#VALUE!			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (特別会計への繰出金)													
委託先・実施主体等														
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容				費目	実績(R6)	主な業務内容					
	繰出金	1,365,981	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金											

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,381,893		1,435,808		1,454,866		0			
	② 補正予算	960		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,382,853		1,435,808		1,454,866		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,169,021		1,186,246		1,196,902		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	203,264		238,335		246,829		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	10,568		11,227		11,135		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	1,382,853		1,435,808							
	③ 執行額	1,293,258		1,365,981							
	④ 執行率	93.5%		95.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.03	/	0.00	/	/		
	② 概算人件費	168		240							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,293,426		1,366,221							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	後期高齢基盤安定負担金(保険料軽減分)		種類	民生費府負担金		実績金額	237,941	決算附属資料	21	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	—		—	—	—			
			目標値			—	—	—	—	—	
	【定性的評価のため入力なし】		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	百万円	1282.3	1293.3	1366				
	繰出金決算額		当初見込		1351.6	1381.9	1435.8	1454.8	—		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	繰出基準等に基づき後期高齢者医療事業特別会計に一般会計から繰出を行う。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 繰出を行うことにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。今後も適正に繰出を実施する必要がある。【定性的評価】								
現状の課題 に対する 改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護保険事業運営										事業コード	010101420503				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章						
会計情報	款	01 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	15 介護保険		決算附属資料	267		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの適正な運営を行うことで、持続的な「高齢者が最後まで自分らしく暮らせる環境」を整えることを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 介護保険制度に係る事務のうち、被保険者管理(資格の得喪等)、給付管理(介護サービス利用等)、制度の広報・啓発、サービス事業者の指定・指導等を行うための事務的経費。									
対象者	福知山市が保険者の第1号被保険者及び第2号被保険者					対象者数	23,000		単位あたりコスト	12.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	238,723		268,079		175,752		0						
	② 補正予算	15,148		2,757		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		253,871		270,836		175,752		0						
予算財源内訳	① 一般財源	15,148		0		0		0						
	② 国支出金	21,083		27,822		6,463		0						
	③ 府支出金	10,542		11,378		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	207,098		228,879		169,289		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 149										
	② 配当予算	253,871		270,687										
	③ 執行額	236,946		259,960										
	④ 執行率	93.3%		96.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.42	/	0.60	2.35	/	0.60			/				
	② 概算人件費	21,040		20,480										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		257,986		280,440										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	介護保険システム改修費補助金		種類	介護保険事業費国庫補助金		実績金額	1,419		決算附属資料	264		頁
			利子及び配当金			利子及び配当金			1,506			265		
			広告料収入			雑入			18			266		
			その他一般会計繰入金			その他一般会計繰入金			237,784			265		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	13	13	14			
	事業所運営指導実施件数	当初見込		13	15	14	14	14	
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容① (アクティビティ)	介護保険施設等を対象に、介護サービスの質、運営体制、介護報酬請求の実施状況等の確認のため、実地により運営指導を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	7	35			
	ケアプラン点検実施件数	当初見込		27	27	18	25	25	
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)	居宅介護支援事業所を対象に介護支援専門員が作成したケアプラン(居宅介護サービス計画・介護予防サービス計画)内容について自立支援に資する適切なケアプランとなっているかの検証確認を行う。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては第10次福知山市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適切な事業運営を行っている。【定性的評価】今後、高齢者の増加によりさらに介護サービス費の増加が見込まれる。高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適切に供給できる体制づくりが必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	適正な介護保険制度の運営を引き続き行っていくために、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	99.29	99.36	99.38					
	目標値	99.5		99.5	99.5	99.5	99.5				
	保険料収納率(現年・滞納)	達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%			
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	75	37	69					
	新規口座振替登録者数	当初見込		60	60	60	60	60			
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・手軽に支払いができるよう、従来からの金融機関での現金払いに加え、口座引き落とし、コンビニ現金払い、スマートフォン決済等の多様な手段を確保する。 ・介護保険手続きの際に、保険料滞納者と接触し、支払いの催促を行う。 ・保険料滞納者に対し、督促・臨宅・催促等を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
	目標値										
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	日々、多くの死亡・転入出等があるなかで、毎月、保険料の見直しを行うことができる。また、滞納者と接触した際には、滞納者の生活状況等も聞きながら、今後の支払計画と一緒に作成する等によって債権管理を行っている。一人ひとり、滞納している理由が違うことを念頭に、引き続き滞納者に寄り添った徴収・債権管理を行う必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	
	滞納額の減少をめざし、引き続き、介護保険法や福知山市介護保険条例等に基づく債権管理を行い、税機構や債権管理担当部署と連携を行う。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	居宅介護予防サービス費							事業コード	020101420519			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	02 保険給付費	項	01 保険給付費	目	01 介護サービス等諸費		会計	15 介護保険	決算附属資料	269	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。						
	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。						
課題 (3行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。						
	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者に対して提供した介護予防訪問介護や介護予防通所介護等の居宅介護予防サービス費に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)						
事業目的 (5行程度以内)							
実施概要 (5行程度以内)							
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者			対象者数	5,000	単位あたりコスト	24.8
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	139,365		128,590		131,187		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		139,365		128,590		131,187		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	38,589		35,034		35,368		0					
	③ 府支出金	17,421		16,074		16,398		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	83,355		77,482		79,421		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	139,365		128,590									
	③ 執行額	126,159		123,744									
	④ 執行率	90.5%		96.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.04	/	0.00	0.04	/	0.00	/					
	② 概算人件費	320		320									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		126,479		124,064									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	25,590		決算附属資料	263	頁
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			24,748			263	
			現年度分			調整交付金			9,058			263	
			介護給付費交付金現年度分			介護給付費交付金			33,410			264	
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			15,467			264	
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			15,467			265	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—				
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—			
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	9024	9216	9252				
	居宅介護予防サービス給付利用者数			当初見込	8016	8388	9624	9840	10056	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	要支援者に対し、自宅で自立した生活が送れるよう、居宅介護予防サービス(訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、短期入所療養介護)に係る費用を支給する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】								
現状の課題 に対する 改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防福祉用具購入費										事業コード	020101420520				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章						
会計情報	款	02 保険給付費		項	01 保険給付費		目	01 介護サービス等諸費		会計	15 介護保険		決算附属資料	269		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	-															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の福祉用具購入に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)									
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者					対象者数	5,000		単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,350		3,782		3,782		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		3,350		3,782		3,782		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	927		1,031		1,019		0						
	③ 府支出金	419		473		473		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,004		2,278		2,290		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	3,350		3,782										
	③ 執行額	3,243		3,339										
	④ 執行率	96.8%		88.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.03	/	0.00			/				
	② 概算人件費	160		240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,403		3,579										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	690		決算附属資料	263		頁
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			667			263		
			現年度分			調整交付金			244			263		
			介護給付費交付金現年度分			介護給付費交付金			901			264		
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			417			264		
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			417			265		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	108	108	120			
	介護予防福祉用具購入費支給者数	当初見込		120	120	132	132	144	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
要介護者に対し、特定介護予防福祉用具(腰掛便座・簡易浴槽等)購入に係る費用を支給する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題 に対する 改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防住宅改修費										事業コード	020101420521				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章						
会計情報	款	02 保険給付費		項	01 保険給付費		目	01 介護サービス等諸費		会計	15 介護保険		決算附属資料	270		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)															
関連事業	-															

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の住宅改修に係る給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)									
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者					対象者数	5,000		単位あたりコスト	1.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,294		7,250		7,250		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		10,294		7,250		7,250		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	2,851		1,975		1,954		0						
	③ 府支出金	1,287		906		906		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	6,156		4,369		4,390		0						
決算情報	① 流充用額	0		957										
	② 配当予算	10,294		8,207										
	③ 執行額	7,672		8,207										
	④ 執行率	74.5%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	/						
	② 概算人件費	160		160										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,832		8,367										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	1,697		決算附属資料	263		頁
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			1,641			263		
			現年度分			調整交付金			600			263		
			介護給付費交付金現年度分			介護給付費交付金			2,216			264		
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			1,025			264		
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			1,025			265		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—				
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—			
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	120	120	108				
	介護予防住宅改修費支給者数			当初見込	132	132	132	84	84	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	要支援者に対し、要支援者宅の手摺の取り付け、段差の解消、滑りの防止等、介護保険における住宅改修を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
				当初見込						
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】	
現状の課題 に対する 改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防支援費							事業コード	020101420522			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	02 保険給付費	項	01 保険給付費	目	01 介護サービス等諸費		会計	15 介護保険	決算附属資料	270	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担金事業)											
関連事業	-											

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護給付費が増加している。介護保険サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 要支援認定者の介護予防サービス計画(ケアプラン)作成に係る経費(請求)に対する給付費 (介護保険サービス量の増加は、介護保険給付費の増加を招くことになり、介護保険料へも影響を及ぼすこととなる。このため、3か年を計画期間として介護保険計画を立て、当該計画の中で介護保険サービスの事業量の見込みを立てることとしている。現計画は、第10次福知山市高齢者保健福祉計画で、令和6年度から令和8年度までを計画期間としている。)					
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者		対象者数	5,000	単位あたりコスト	7.6
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	30,356		39,072		39,842		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		30,356		39,072		39,842		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	8,405		10,644		10,741		0				
	③ 府支出金	3,795		4,884		4,980		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	18,156		23,544		24,121		0				
決算情報	① 流充用額	6,380		0								
	② 配当予算	36,736		39,072								
	③ 執行額	36,736		37,792								
	④ 執行率	100.0%		96.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	/				
	② 概算人件費	160		160								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		36,896		37,952								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	7,815	決算附属資料	263	頁
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			7,558		263	
			現年度分			調整交付金			2,766		263	
			介護給付費交付金現年度分			介護給付費交付金			10,203		264	
			介護給付費負担金現年度分			介護給付費負担金			4,724		264	
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			4,724		265	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	7992	8088	8184			
	介護予防支援給付利用者数	当初見込		6672	6792	8472	8628	8748	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
ケアマネジャーが、要支援者が介護予防サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、要支援者の希望等を勘案し、ケアプラン(介護予防サービス計画)を作成するとともに、サービス事業者との連絡調整を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。【定性的評価】
現状の課題 に対する 改善策	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サービス費の増加が見込まれる。 高齢になってもその人らしい生活が維持できるよう、必要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和6年度から令和8年度については、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防普及啓発事業							事業コード	030101420531			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所 属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	01 介護予防・生活支援	目	01 介護予防・生活支援		会計	15 介護保険	決算附属資料	270・271	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	地域福祉計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・一般介護予防事業の1つであり、要支援および要介護1といった軽度なレベルの介護認定者が増加している背景がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・介護予防教室を通じて、参加者の居場所作りや生きがい作りの場となり、将来的には、高齢者が主体的に取組み、支えあう地域づくりをめざすとともに、体操を生活習慣の中に取り入れてもらえるような仕組みづくりが難しい現状にあること。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・65歳以上の高齢者を対象に、介護予防の取組みを推進することによって、要介護状態になることをできる限り予防し、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できるまちづくりの推進を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・本庁付近、3支所をメイン会場に、その他日常生活圏域(中学校区)ごと、小学校区(選定)に会場を設け、市が介護予防(本市オリジナルの貯筋体操)教室を開催。市民参加者は市内の会場を自由に参加できるスタイルをとっている。 ・自宅等から介護予防教室に参加できるよう、市が週2回オンライン配信を行っている。 ・地域の依頼に応じて専門職を派遣し、介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔、認知症予防に係る介護予防教室を開催している。									
対象者	市内高齢者				対象者数	23,000		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	9,109		10,695		17,429		0						
	② 補正予算	△ 367		782		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		8,742		11,477		17,429		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	368		1,467		3,485		0						
	③ 府支出金	230		918		2,179		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	8,144		9,092		11,765		0						
決算情報	① 流充用額	385		139										
	② 配当予算	9,127		11,616										
	③ 執行額	8,222		10,773										
	④ 執行率	90.1%		92.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00			/				
	② 概算人件費	1,280		1,280										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,502		12,053										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		実績金額	2,477		決算附属資料	263		頁
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)			2,693			263		
			地域支援事業支援交付金			介護給付費交付金			2,908			264		
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)			1,346			265		
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			1,346			265		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%		4435	4247	3341			
		目標値			5233	5319	5087	5120	5178	
		介護認定者数(年間認定者数)	達成度	%	85%	80%	66%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		260	377	488			
	集約型事業 実参加者数									
		当初見込			440	440	440	440	440	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	介護予防教室を広報ふくちやまやHPなどで周知する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	回		0	30	26			
		目標値			27	27	27	27	27	
		専門職と連携した集約型事業の実施回数	達成度	%	0%	111%	96%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	時間		1	82	112			
	介護支援サポーター活動時間									
		当初見込			500	500	500	500	500	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	介護支援サポーターの制度説明会、研修会等において、介護予防教室についての情報共有を行う。									

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・本市オリジナルの貯筋体操は、高齢者の日常生活の困りごとに着目した内容であり、介護予防に繋がることから、教室への参加のみならず、自宅で継続している参加者も多い。 ・運動、栄養、口腔の介護予防教室では、フレイル予防や認知症予防につながっている。 ・集約型事業において、参加者の固定化といった課題に対し、官民連携による介護予防教室の開催や会場変更等を行うなどの工夫をしながら実施した。引き続き、地域介護予防活動支援事業等と包括的に取組を進め、より多くの高齢者に参加いただける仕組みづくりの推進が必要である。 ・高齢者が主体的に体操に取り組んだり、生活習慣に取り入れてもらえるような仕組みづくりが必要である。
現状の課題 に対する 改善策	
	・第10次高齢者保健福祉計画に基づき、事業進捗状況を分析しながら継続して実施する。 ・高齢者が気軽に体操に取り組み、また継続してもらえるよう、体操をしていない層を含め、幅広く体操の案内や周知を継続する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地域介護予防活動支援事業							事業コード	030101420540				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実					
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611				
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章					
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	01 介護予防・生活支援サービス事業費		目	01 介護予防・生活支援サービス事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	271	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度		関連計画名	地域福祉計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・一般介護予防事業の1つであり、要支援および要介護1といった軽度なレベルの介護認定者が増加している背景がある。 ・介護が必要とは思わないが気力や体力の衰えを感じている、今後も元気で暮らしたいと考えている高齢者に対して介護予防の視点も取り入れ、身近な場所で気軽に集える居場所づくりの推進が必要とされている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・地域のニーズや資源は地域ごとに違いが読み取りにくいところ。住民主体の介護予防の取組の普及増が難しい現状にある。 ・介護支援サポーター活動は再開となっているが、受入の介護施設がなかなか増えない状況にある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくために、地域からの依頼に対し、住民から育成された体操指導者を派遣する外向き型事業を実施し、地域の介護予防活動の支援を行っている。 ・住民主体の通いの場を増やすために地域支援コーディネーターと密な情報共有を含め連携をしている。 ・市民の介護予防に資するとともに、介護事業所の支援を行うために、介護支援サポーターを派遣し、活動の支援を行っている。										
対象者	市内高齢者					対象者数	23,000		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,375		9,113		1,831		0					
	② 補正予算	1,176		615		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		9,551		9,728		1,831		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	370		1,334		0		0					
	③ 府支出金	231		833		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	8,950		7,561		1,831		0					
決算情報	① 流充用額	△ 385		△ 139									
	② 配当予算	9,166		9,589									
	③ 執行額	6,736		8,559									
	④ 執行率	73.5%		89.3%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00			/			
	② 概算人件費	1,120		1,120									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,856		9,679									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	第1号被保険者介護保険料		1,968		決算附属資料	263		頁
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)		2,139			263		
			地域支援事業支援交付金			介護給付費交付金		2,310			264		
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)		1,069			265		
			介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金		1,069			265		
				17									

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%		5	6	6			
	65歳以上新規認定申請者割合	目標値	4.5			4.5	4.5	4.5	4.5		
			達成度	%	111%	133%	133%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	時間	389	1517	2766				
	出向き型事業 延べ時間		当初見込		1700	1700	1700	1700	1700		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	出向き型事業の実施に向け、訪問場所や活動について体操指導員と調整。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	5	6	6				
	65歳以上新規認定申請者割合	目標値	4.5		4.5	4.5	4.5	4.5			
			達成度	%	111%	133%	133%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	時間	1	82	112				
	介護支援サポーター活動時間		当初見込		500	500	500	500	500		
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	介護事業所の支援を行うために、介護支援サポーターを派遣し、活動支援を行う。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・近年、新型コロナウイルス感染症の影響により地域のサロン活動が止まっていたが、介護予防普及啓発事業と連携して取組を進めることにより、令和6年度は多くの地域で活動が行われた。引き続き、地域のニーズも吸い上げながら地域住民に寄り添った支援を行う必要がある。 ・介護支援サポーター活動については、新型コロナウイルス感染症の影響があってから、介護事業所での受け入れが少ない状況が続いているなか、令和6年度はサポーターを受け入れる介護事業所もあり、コロナ前と同様に、介護事業所と連携してサポーター活動を普及させる必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・第10次高齢者保健福祉計画に基づき、事業進捗状況を分析しながら継続して実施する。 ・年間1～3回の体操では介護予防に効果がなく、継続して実施することが重要であることから、介護予防の取組が普及するよう引き続き地域へ働きかけを行うとともに、各地域包括支援センターや社会福祉協議会等と連携し、地域のニーズや資源を踏まえた上で、取組の実現に向けて寄り添った支援を行い、歩いて通えるような範囲に継続して介護予防体操ができる環境づくりを推進する。 ・介護支援サポーター活動を増加するためには、介護事業所におけるサポーター受け入れ体制の整備が重要であることから、介護事業所と連携を図る。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	いきいき・おでかけ応援事業										事業コード	030103202301				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	119		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市いきいき・おでかけ応援事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 コロナ禍において外出を控える高齢者が増え、地域の社会活動の低迷、フレイル(虚弱)予備軍の高齢者が増えていると予測される。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ R6年度事業終了後アンケートにおいて、チケットを利用した外出先は医療機関がほとんどであり、当初の目的である地域活動への参加等には有効ではなかった。今後、継続していくのなら、目的の明確化、対象者の明確化等を見直す必要がある。また、切符ほどの大きさの紙チケットでの交付のため、交付、実績確認等事務作業の手間が非常に大きい。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) コロナ禍において地域の社会活動の低迷、フレイル(虚弱)予備軍の高齢者が増えていると予測される中、市内の交通機関で利用可能な共通乗車券(「おでかけ応援チケット」)を配付し、地域活動への参加や外出頻度の増加等を促すことができるのかを検証することにより、「高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり」につなげる高齢者外出支援について検討を行う。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 運転免許証を持たない75歳以上の高齢者に、バス・タクシー等に利用できるおでかけ応援チケットを交付する。 令和5年度 一人当たり4,000円 令和6年度・令和7年度6,000円 運転免許証返納者(免許証返納後3年以内) 一人当たり12,000円										
対象者	75歳以上の運転免許を持たない高齢者					対象者数	5,500		単位あたりコスト	3.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	19,711		17,312		15,608		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		19,711		17,312		15,608		0					
予算財源内訳	① 一般財源	19,711		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		17,312		15,608		0					
決算情報	① 流充用額	△ 4,758		△ 68									
	② 配当予算	14,953		17,244									
	③ 執行額	12,390		14,936									
	④ 執行率	82.9%		86.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.10	/	0.90	0.05	/	0.90	/					
	② 概算人件費	3,320		2,920									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,710		17,856									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	いきいき・おでかけ応援事業基金繰入(地域福祉基金)			種類	基金繰入金		11,470		実績金額	決算附属資料	35	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	—	15	13.8			
		目標値		—	18	14	13	—	
	外出頻度の少ない人の割合		達成度	%	#VALUE!	83%	99%	0%	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	—	71.8	74.6			
	利用率	当初見込		—	50	60	70	—	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	利用促進のため、HPや広報ふくちやまに掲載する。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	令和6年度末利用者アンケートにおいて、チケットにより外出機会が増えたと答えた方の割合は55%であった。また、チケットを利用して行った場所については、76.8%の方が通院と回答した。また、当初目的の高齢者の外出頻度の増加については、令和5年度に5類感染症に移行後、介護予防事業の参加者数や敬老事業の祝賀会開催団体数などから見て増加、回復傾向にあると考えられる。本事業は3年間の実証事業のため、利用者からの声に耳を傾けながら令和8年度からの事業の継続の有無及び方向性を決定していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	事業実施時の社会情勢や事業実施に伴う地域活動への参加や外出頻度への効果も検証する中で、事業の方向性を決定していく。	

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
				21					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	団体	—	3	1				
		目標値		—	10	10	10	10		
	敬老事業による世代間交流実施団体数	達成度		%	#VALUE!	30%	10%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	25	58	67				
	祝賀会実施件数	当初見込		102	102	102	102	102		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		市民の方に敬老意識の高揚を図るとともに敬老事業の対象者の方に敬老会へ参加していただけるように広報カード等により周知していく。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	敬老事業の運営費の一部を補助することで、地域の敬老事業が円滑に実施されている。また、長寿の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。主催者の高齢化により負担が大きくなっていることもあり、敬老事業が未開催(記念品のみ送付)となる地域が増えてきていることが課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	対象事業を高齢者福祉に資する幅広い事業(敬老会開催事業、地域交流促進事業、健康づくり事業、敬老の日にちなんだ行事の開催)にすることで、主催者負担の軽減や敬老意識高揚を図っている。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	老人クラブ活動費補助事業										事業コード	030103420209				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実							
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり							施策コード	611						
事業担当	所 属	150300 健康福祉部高齢者福祉課						所属長	小野木 正章							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	120		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	福知山市老人クラブ活動費補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 老人クラブで単位クラブや市老連に対して補助金を交付する。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 役員のなり手がおらず、老人クラブの存続が難しいクラブなどがある。令和6年度より繰越金が多額の単位クラブにおいては、補助を見合わせている。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 各地域において活動している老人クラブの活動を支援し、円滑な事業実施を図る。地域の生きがいがいづくりや健康づくり、介護予防活動等、地域福祉の推進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること (単位老人クラブ)生きがいがいづくりや健康づくりなどの活動を行っている各地域の老人クラブを支援するため補助金を交付する。 ・地域活動事業については、令和3年度より、単位クラブの補助金額を福知山市老人クラブ連合会加入・未加入を問わず30人以上:36,800円、29人以下:13,900円に統一、見守り活動の実施で最高2,000円を加算 ・視察研修事業については、老人クラブが実施する生きがいがいづくり、健康づくりのための視察、研修参加等を行う場合にバス借上げ料の1/2(上限50,000円)を補助(市老連)高齢者相互支援推進啓発事業、地域福祉活動等を展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付 ・研修バス運行					
対象者	市内高齢者		対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	6,467		5,687		11,422		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		6,467		5,687		11,422		0		
予算財源内訳	① 一般財源	2,076		2,669		7,184		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	4,391		3,018		4,238		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	16		0						
	② 配当予算	6,483		5,687						
	③ 執行額	4,767		4,897						
	④ 執行率	73.5%		86.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.25	/	0.20	0.33	/	0.20			/
	② 概算人件費	2,560		3,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,327		8,097						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	老人クラブ活動費		種類	民生費府補助金	実績金額	3,237	決算附属資料	23	頁
		高齢者保健福祉計画推進事業			民生費府補助金		35		23	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	4933	4278	3883			
		目標値		6500	6500	6500	4000	4000	
	老人クラブ会員数	達成度		%	76%	66%	60%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	7	17	15			
		当初見込		20	20	20	20	20	
	普及啓発事業利用の出前講座								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	単位老人クラブ及び市老連に対して、普及啓発事業の案内の周知を徹底する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	超高齢社会のもとでは、市内の各地域において生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動は重要であり、その活動を支援していくことは高齢者福祉の増進という観点において有意義である。各クラブ会員の高齢化や会員数の減、クラブの休会・解散も多くなっていることから、老人クラブの継続が困難となっていることが課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	今後超高齢社会において、市内の各地域でレクリエーション、スポーツ、清掃活動などの生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う単位老人クラブの活動は非常に重要である。老人クラブの活動は、高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与していることから、今後も支援を行っていく必要がある。老人クラブ連合会事務局等と連携を取りながら、会員数の拡大・維持に努める。								
	令和7年度より「老人クラブ活動費補助事業」と「老人クラブ連合会活動事業」を統合。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	老人クラブ連合会活動事業										事業コード	030103420210			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり							施策コード	611					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課						所属長	小野木 正章						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	120	頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況		他事業へ統合	
根拠法令等	福知山市老人クラブ連合会補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地域福祉の推進のため、老人クラブ連合会はスポーツ大会や相談事業、研修などの活動を行っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 役員のなり手がおらず、老人クラブの存続が難しいクラブなどがある。また、令和5年度当初は107クラブ、3,955人の加入であったが、令和6年度当初は106クラブ、3,834人の加入となるなど、年々クラブ数や会員数が減少傾向にある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 健康・友愛・奉仕を活動の柱に「地域を豊かにする活動」や「安心安全なまちづくり」を積極的に展開している老人クラブ連合会の活動を支援することで、地域福祉、高齢者福祉の増進を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・高齢者相互支援推進啓発事業、地域福祉活動等を展開している老人クラブ連合会に対して補助金を交付 ・研修バス運行									
対象者	市内高齢者				対象者数	23,000		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,077		6,065		0		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		6,077		6,065		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	4,836		4,845		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,241		1,220		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	6,077		6,065									
	③ 執行額	6,064		5,994									
	④ 執行率	99.8%		98.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.25	/	0.00	0.32	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,000		2,560									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,064		8,554									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	老人クラブ連合会活動事業			種類	民生費府補助金		実績金額	981		決算附属資料	23	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	団体	112	107	106			
	市老連加入クラブ数	目標値		100	100	100	100	100	
		達成度		%	112%	107%	106%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	2	3			
	相互支援連絡会の開催	当初見込		2	2	2	2	2	
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容① (アクティビティ)	老人クラブ連合会に、相互支援推進啓発事業、地域福祉活動等を展開する等周知を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	老人クラブ連合会は、老人クラブへの研修実施やスポーツ大会等の企画・開催を通じ、老人クラブの活性化を目的に活動を行っている。また、交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいていることから、その貢献は大きく、今後も継続して老人クラブ連合会の円滑な事業運営への支援を行っていく必要がある。成果としては、地域福祉の推進に十分に寄与していると考え。今後も、連合会事務局と協議しながら、さらなる地域福祉の推進に向けた方策を検討する。連合会会員は減少しているが、地域福祉の他にも交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいているため、今後も支援を行っていく必要がある。加入団体や会員数の減少、解散クラブが徐々に増えていることが課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	市の取組啓発については、定期的に開催している協議において実施の依頼をする。市老連の活動内容を支援ガイドに掲載し、市老連への加入団体や会員の拡大・維持に向けて支援や啓発を継続する。	
	令和7年度より「老人クラブ活動費補助事業」と「老人クラブ連合会活動事業」を統合。	

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	高齢者保健福祉計画推進事業	種類	民生費府補助金	実績金額	526	決算附属資料	23	頁
				27					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	15.8	15.8	31.8			
		目標値		100	100	100	100	100	
	計画の目標達成度		達成度	%	16%	16%	32%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	5	2			
	高齢者対策協議会の回数								
				当初見込	3	5	2	3	5
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	高齢者対策協議会を開催し、各施策や事業の進捗状況の報告と今後の方向性について審議する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
				当初見込					
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 市の高齢者施策についての情報共有、方向性検討の場になるので、今後も会議を行っていく必要がある。高齢者福祉の推進にあたっては、行政だけでなく、多様な主体の参画が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	・会議内で、市からの議題提供だけでなく、委員からも提供していただけるような方向性の検討が今後必要かと考える。 ・計画策定内容を遂行するために、計画に関連する各担当課が計画内容を把握した上で事業を進める必要がある。								

(単位：千円)

事業名	高齢者福祉一般管理事業							事業コード	030103420237			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり							施策コード	611		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課						所属長	小野木 正章			
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	121	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画画	-				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
関連事業	-											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 消耗品・郵送料等の一般事務費として必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 事務効率化やコスト削減を考えながら業務を行う必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 円滑な事務の推進を図る。(各事業実施のための一般事務費)					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・消耗品・郵送料等の一般事務費					
対象者			対象者数	-	単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	472	消耗品費			
	役務費	283	郵送料、電話料			
	使用料及び賃借料	237	複写機使用料			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,150		984		472		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0					
小計(①～③)		1,150		984		472		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,133		967		455		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	17		17		17		0			
決算情報	① 流充用額	279		153							
	② 配当予算	1,429		1,137							
	③ 執行額	794		991							
	④ 執行率	55.6%		87.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.12	/	0.00	0.08	/	0.00	/			
	② 概算人件費	960		640							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,754		1,631							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	証明手数料		種類	民生手数料		実績金額	4	決算附属資料	12	頁
		電柱類設置貸付収入(高齢者福祉課)			財産貸付収入			2		31	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—					
	【定性的評価】	当初見込	—	—	—	—	—	—	—		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	消耗品・郵送料等の支払い										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 各種事務事業の円滑な推進、事業実施に必要である。(定性評価)								
現状の課題 に対する 改善策	定期的に事務効率化やコスト削減に向けて見直しを行う。								

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	屋根雪おろし等費用助成事業						事業コード	030103420282						
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実							
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611						
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課				所属長	小野木 正章							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	-	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	屋根雪おろし等費用助成金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()													
関連事業	-													

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 降雪により、日常生活を行うのに支障をきたすが、高齢等のため除雪が困難な方がおられる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 降雪の季節が近づいたら広報等で周知を徹底し、対象者がもれなく申請できるようにすることが課題。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 自力で除雪をすることが困難な高齢者等に対し、雪おろし等に係る経済的支援を行うことによって、高齢者が安心して生活できる環境を確保する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 居住する家屋の屋根及び避難路等の必要最低限度の除雪を自力ですることが困難な高齢者等が雪おろし等をおこなった際にかかった費用に対して補助金を交付する。					
対象者	高齢者のみ世帯、母子世帯、障害者のみ世帯		対象者数	-	単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		0		0		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	8		0					
	② 配当予算	8		0					
	③ 執行額	8		0					
	④ 執行率	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.01	/	0.05	0.02	/	0.05	/	
	② 概算人件費	220		300					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		228		300					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	2	1	0			
		目標値		0	0	0	0	0	
		補助金利用件数	達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
		当初見込		2	2	2	2	2	
		広報ふくちやま・民生委員への周知回数							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま・民生委員への周知の徹底								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 適切な除雪作業の実施を支援することにより、高齢者等の被災を防ぎ、また、経済的な負担軽減を図ることができている。今後も地域住民同士のささえあいの取組の普及拡大に努める。
現状の課題に対する 改善策	広報やSNS等を活動し、事業の周知に努める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福祉用具・住宅改修支援事業							事業コード	030202420588			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	02 任意事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	274	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国が定める介護給付適正化事業のひとつで、制度の適正な運用の観点からチェック体制の充実・強化が求められている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 福祉用具の購入・貸与、住宅改修に当たり、専門職からの助言等をもらうことは要介護者等の日常生活の便宜を図るうえで重要であるが、現状、利用者からの積極的な利用申請は多くない。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 利用者やその家族のニーズ、及び個人の心身の状態に適した介護保険サービスを提供するため、福祉用具の購入・貸与、住宅改修の支給にあたり、専門職による助言等を行い、適正な給付を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・ケアマネジャーが担当する要介護認定者が介護保険の福祉用具購入、貸与及び住宅改修を利用するに当たり、専門職の助言を希望する場合、総合的な住環境整備の観点から理学療法士等が同行し助言等を行う。									
対象者	在宅の要介護(要支援)認定者				対象者数	3,700		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	408		204		102		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		408		204		102		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	157		79		39		0				
	③ 府支出金	79		39		20		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	172		86		43		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	408		204								
	③ 執行額	34		34								
	④ 執行率	8.3%		16.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.04	/	0.00	0.02	/	0.00			/		
	② 概算人件費	320		160								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		354		194								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	現年度分		種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		実績金額	13		決算附属資料	264	頁
		現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			7	265			
		介護給付費等繰入金			介護給付費繰入金			7	265			
		現年度分			第1号被保険者介護保険料			7	263			
				23								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—		
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度				
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	2	2	2						
	同行訪問利用件数	件	48	12	12	6	6				
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	制度利用に当たっては、ケアマネジャーが窓口となることから、ケアマネジャーに対する制度の周知及び制度の積極的な活用の促進に向けた案内を発出している。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度				
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)											

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	国が推進していることを鑑みても本制度は介護給付適正化に有効であると言えるが、本市においては利用が少ないことが課題である。利用申請がないため報酬も発生せず、執行率が低くなっている。	
現状の課題 に対する 改善策	利用実績が少ない要因として、事業又は制度利用手順の周知不足が考えられるため、情報発信を今以上に積極的に行う。	

(単位：千円)

35

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	148	157	150					
	還付件数	当初見込		0	0	0	0	0			
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	・過誤納の発生に伴い、還付対象者に払い戻しの通知を発送する。 ・振込先口座を確認後、速やかに還付を行う。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 基本的に還付すべき保険料は速やかに還付することを心掛けているが、戸籍調査は時間がかかるため、苦慮している。また、近年は、相続放棄等によって、戸籍調査を行う件数が増加している。								
現状の課題 に対する 改善策	庁内連携による戸籍調査を行い、引き続き適正に還付事務を行う。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防・生活支援サービス事業							事業コード	030101420529			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課 150700 健康福祉部 地域包括ケア推進課					所属長	小野木 正章、中田 浩二				
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	01 介護予防・生活支援	目	01 介護予防・生活支援		会計	15 介護保険	決算附属資料	270	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 高齢に伴いフレイルが悪化していくと、日常生活においてサポートが必要となる要支援、その後要介護へと状態が進行がする背景がある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 要支援になったことをきっかけとして、状態の悪化や、それに伴う閉じこもりにより、活動的で生きがいのある生活が送りにくくなる現状がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 高齢に伴う心身機能の低下により要支援状態になっても、住み慣れた地域で自助・共助・公助の仕組みを活用し、残存機能の維持改善や要介護状態の悪化防止、もしくは軽減をめざし、いつまでも自立した生活を送れるようにする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援等の認定者に、従来相当サービス、サービスA(緩和型)、サービスB(住民主体)、サービスC(短期集中)を提供する。 ※サービスA:雇用労働者(訪問看護員)が生活援助として、調理、掃除など日常生活に対する援助を行う。 サービスB:住民団体等が主体となって提供するサービスで、地域の住民ボランティアが訪問し、ゴミ出し、掃除、草ひき、雪かきなどを行う。 サービスC:心身機能・生活機能等の低下が見られるが、短期的に集中的に支援を行うことで改善が見込まれる人を対象に、期間を限定して心身機能・生活機能改					
対象者	要支援認定者等		対象者数	1,184	単位あたりコスト	147.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	207,788		211,510		203,424		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		207,788		211,510		203,424		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	52,014		53,782		51,673		0			
	③ 府支出金	25,628		26,438		25,428		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	130,146		131,290		126,323		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	207,788		211,510							
	③ 執行額	174,978		173,461							
	④ 執行率	84.2%		82.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,280		1,280							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		176,258		174,741							
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)		43,365	決算附属資料	263	頁
			現年度分			総合事業調整交付金		14,619		264	
			介護保険保険者努力支援交付金			介護保険保険者努力支援交付金		12,649		264	
			保険者機能強化推進交付金			保険者機能強化推進交付金		7,477		264	
			地域支援事業支援交付金			介護給付費交付金		46,834		264	
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)		21,682		265	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	4435	4247	3341			
	介護認定者数(年間認定者数)	目標値		5233	5319	5087	5120	5178	
		達成度	%	85%	80%	66%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	55	85	63			
	短期集中介入サービスC利用者数	当初見込		130	130	130	130	130	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	要支援者等の認定者や地域住民へ広報等によるサービスの周知								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 介護保険事業運営は、介護保険法に基づき、市町村が実施主体となっている。 高齢者が安心して生活していくためには、介護保険サービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、適正な事業運営を行っている。(定性的評価) 要支援になったことをきっかけとして状態が悪化し、活動的で生きがいのある生活が送りにくくなるため、今後も継続して介護保険事業を進める必要がある。
現状の課題に対する改善策	・更に高齢者人口が増え、経年的に対象者数が変動していくことを念頭に、他の介護予防・健康づくり事業とあわせた取組の検討を行う等、介護認定率の上昇抑制につなげる。 ・サービスCについては、短期間集中的な支援の効果がどれくらい維持できているか、利用終了後の確認を行いながら、更なる周知にも努めていくことで、積極的なサービス利用を勧めていく。また、課題となっているサービスCの卒業後の維持・継続について、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業のなかで通いの場の創出等、地域づくりを併せて進めていく必要がある。 ・訪問型サービスBについては、他の地域にも横展開することで、更なる普及・啓発を進めていく。 ・第10次高齢者保健福祉計画に基づき事業を実施していく。

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	介護予防サービス計画作成事業							事業コード	020101420548							
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実								
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611							
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課					所属長	中田 浩二								
会計情報	款	02 事業費		項	01 居宅介護支援事業費		目	01 居宅介護支援事業費		会計	16 サービス		決算附属資料	277		頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第9期福知山市介護保険事業計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	介護保険法															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 （ ）															
関連事業	-															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護保険法制度の基本理念に基づく、「尊厳の維持」「自立支援」の中で、要介護状態になることをできるだけ防ぐこと、要支援(介護)になっても状態の改善・維持・悪化の遅延を図るため、地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントが重要になっている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護予防ケアマネジメントは地域包括支援センターの業務の一つではあるが、地域包括支援センターの人員体制が十分とは言えず、その他の「総合相談業務」等の業務に追われ、十分な介護予防ケアマネジメントが行えていない現状がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内にある居宅介護支援事業所に要支援認定者の介護予防サービスの計画作成を委託することで、将来要介護状態へ進行した場合のシームレスなサービス利用を行うことを目的とし、介護予防ケアマネジメントに係る時間を軽減することで地域包括支援センターの総合相談への迅速な対応ができる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること ・支援が必要な要支援認定者に適切なサービス利用ができるよう、アセスメントを行ったうえで今後、介護になる見通しが高い人については、要介護のケアプランを作成することができる居宅介護支援事業所と初動時から連携を行い要支援者のケアプランの作成を依頼する。 ・プラン作成に係るコストについては介護保険診療報酬に基づき、あらかじめ決められた単価を居宅介護支援事業所と長期継続契約を行い、毎月支払っている。					
対象者	要支援認定者	対象者数	1,309	単位あたりコスト	21.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	(社福)社会福祉協議会 他26事業所					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	6,758	委託居宅介護支援事業所への支払い			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	9,656		10,181		9,737		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		9,656		10,181		9,737		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	9,656		10,181		9,737		0	
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	9,656		10,181					
	③ 執行額	8,701		6,758					
	④ 執行率	90.1%		66.4%					
概 工 算	① 従事職員数 (正職員/会計年度在任職員)	1.98	/	2.90	1.68	/	2.60	/	
	② 概算人件費	23,960		20,720					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		32,661		27,478					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	居宅介護サービス計画費収入	種類	居宅介護サービス計画費収入	実績金額	1,111	決算附属資料	276	頁
		介護サービス事業基金繰入金		介護サービス事業基金繰入金		5,647		276	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	23.6	27.9	23			
		目標値		20	20	20	25	25	
	委託率(委託件数/全件)		達成度	%	118%	140%	115%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2020	2375	1842			
	委託件数	当初見込		1000	1000	1000	1000	1500	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	介護保険認定前から、居宅介護支援事業所と共に情報共有や初動を共に行い、スムーズなケース移行を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・サービス利用者にとって、介護区分により担当事業所・担当者が都度変わることは、新たな信頼関係の構築や書面上での手続きが発生する等の負担感を与える。利用者の利便性を考慮しても、認定前から居宅介護支援事業所と初動を共にする意義は大きいと考える。 ・委託件数は目標の数値を上回っている状況ではあるが、要支援認定者は増加傾向にあり、地域包括支援センターの業務負担が大きい(総合相談の対応のため、時間を要することが多い)
現状の課題 に対する 改善策	
	・地域包括支援センターのケアプラン作成の負担軽減のため、1件でも多くのプラン委託が受けてもらえるよう、居宅介護支援事業所との関係性構築に努める。 すぐには委託件数の大きな増加は見込めないため、地域包括支援センターの職員体制を整えながら、事業運営を継続していく。 ・令和6年4月から介護保険改正により、居宅介護支援事業所が介護予防支援業務の指定を受けて業務を行うことができるようになっていく(委託を受けなくても直接国保連へ請求事務を行うことができる)ことから、指定を受けることにより、従来の委託であればケアプランチェックを包括を行わなければならない業務も削減することにより、事務効率が向上することも期待される。(そのため、アウトプット評価の委託件数自体は今後減る可能性がある。)R7.3現在指定を受けている事業所は2カ所にとどまっている。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者医療事業一般経費										事業コード	010101420601		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611			
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課							所属長	高見 眞司				
会計情報	款	01 総務費		項	01 総務管理費		目	01 一般管理費		会計	19 後期高齢	決算附属資料	283	頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に確保に関する法律													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務)													
関連事業	－													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・後期高齢者医療保険加入者が各種制度を利用できるように、後期高齢者医療制度を適正に運営する。 ・後期高齢者医療保険に加入している被保険者数が京都府全体で増加傾向にあり、福知山市も年々増加傾向にある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 被保険者数が増加傾向にあるため、経費が増加する見込みである。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療保険加入者が安心して医療を受けられるように、後期高齢者医療制度を適正に運営し、各種制度を利用できるようにすることで、健康の保持増進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者の傷病や死亡に関して、後期高齢者医療制度の運営主体である京都府後期医療広域連合と連携し、市の事務である申請・届出受付等の事務を行った。 ①資格管理(資格確認書の発行、新規加入・転入転出届の受付事務等) ②葬祭費・療養費・高額療養費等の受付事務 ③予算編成・決算関係事務 など ④上記業務に伴う広域連合との調整					
対象者	後期高齢者医療保険被保険者		対象者数	13,256	単位あたりコスト	1.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	15,877		11,187		16,528		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		15,877		11,187		16,528		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	15,877		11,187		16,528		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	15,877		11,187						
	③ 執行額	13,223		10,631						
	④ 執行率	83.3%		95.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.43	/	0.20	1.53	/	0.70	/		
	② 概算人件費	12,000		14,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,223		24,831						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	職員給与等繰入金		種類	一般会計繰入金		9,470	決算附属資料	281	頁
		後期高齢者医療事業費補助金			後期高齢者医療事業費国庫補助金		1,161		282	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	3	3					
	広報の回数	当初見込		2	3	3	3	3			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	広報ふくちやまにマイナ保険証、保険料の口座振替の勧奨等の記事を掲載。										

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・後期高齢者医療事務を行うために必要な経費である。 ・被保険者数については、今後も増加する見込みである。 ・後期高齢者医療制度の周知については、被保険者へ配布する支援冊子やホームページ等により、引き続き周知に努める必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	・今後も被保険者数が増加する見込みであり、経費も増加する見込みであるが、郵送物等はできるだけ同封するよう工夫をし、経費削減をはかる。 ・後期高齢者医療制度については、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等の掲載を行うなど十分な周知に努める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者医療保険料徴収事業										事業コード	010201420604		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実					
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611			
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課						所属長	高見 眞司					
会計情報	款	01 総務費		項	02 徴収費		目	01 徴収費		会計	19 後期高齢	決算附属資料	283・284	頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、福知山市後期高齢者医療に関する条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務)													
関連事業	－													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 後期高齢者医療制度の財源である後期高齢者医療保険料を確保し、事業運営を行う。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 被保険者数の増加や令和6年度の保険料改正に伴う激変緩和措置がなくなるため、保険料の増額が見込まれる。適正公平な賦課・徴収により保険料を確保する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療制度の財源である後期高齢者医療保険料について適正公平な賦課・徴収により保険料を確保し、適切な事業運営を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者医療保険被保険者に対し、京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収を行った。 ・賦課決定通知発送 ・収納管理 ・督促状発送 ・納付相談					
対象者	後期高齢者医療保険被保険者		対象者数	13,256	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,947		6,314		7,574		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		4,947		6,314		7,574		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	4,947		6,314		7,574		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	4,947		6,314							
	③ 執行額	4,425		5,831							
	④ 執行率	89.4%		92.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.06	/	1.10	1.01	/	1.15	/			
	② 概算人件費	11,560		11,300							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,985		17,131							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	督促手数料		種類	督促手数料		実績金額	120	決算附属資料	281	頁
		職員給与費等繰入金			一般会計繰入金			5,336		281	
		広域連合事務経費補助金			雑入			373		282	
		納付証明手数料			証明手数料			1		281	
					42						

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	99.69	99.61	99.77			
		目標値		99.86	99.87	99.87	99.87	99.87	
	現年度 収納率		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1209	1334	1296			
	督促状の発送件数	当初見込		1180	1090	1020	1140	1100	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 保険料を納入されない被保険者を対象に納期限の翌月19日に督促状を発送。							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 特別徴収(年金特徴)が主な納付方法であるため収納率は高い水準で推移している。 被保険者数が増加傾向にあるため、郵送料が増加しており、今後も増大する見込みである。								
現状の課題 に対する 改善策	普通徴収の対象者に対しては、保険料決定通知書に同封する「口座振替のチラシ」や各種媒体(広報ふくちやま・ホームページ・LINE等)を利用して広報の回数を増やすなど、周知方法を検討する。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者医療広域連合納付金							事業コード	020101420603			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実				
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611			
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司				
会計情報	款	02 後期高齢連合納付金	項	01 後期高齢連合納付金	目	01 後期高齢連合納付金		会計	19 後期高齢	決算附属資料	284	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☒ その他 (高齢者の医療の確保に関する法律で定められた事務)											
関連事業	－											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・京都府後期高齢者医療広域連合が決定した納付金を納付することにより、後期高齢者医療制度を適切に運営する。 ・後期高齢者医療保険に加入している被保険者数が京都府全体で増加傾向にあり、福知山市も年々増加傾向にある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 後期高齢者人口の増加や医療費の増加により、本市負担分が増加する傾向にある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療制度を適切に運営するため、京都府後期高齢者医療広域連合が決定した納付金を納付することで、後期高齢者医療保険加入者が安心して医療にかかり、健康の保持増進が図れるようにする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 広域連合規約に基づき算出され、各市町村納付金として決定された金額を後期高齢者医療広域連合負担金(分賦金)として支払った。 ・市町村分賦金(共通経費) ・保険基盤安定負担金 ・療養給付費負担金 ・保険料負担金									
対象者	後期高齢者医療保険被保険者				対象者数	13,256		単位あたりコスト	179.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,260,297		2,426,221		2,480,685		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		2,260,297		2,426,221		2,480,685		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,260,297		2,426,221		2,480,685		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	2,260,297		2,426,221										
	③ 執行額	2,232,508		2,371,845										
	④ 執行率	98.8%		97.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00			/				
	② 概算人件費	1,680		1,680										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,234,188		2,373,525										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	特別徴収保険料・現年度分		種類	特別徴収保険料		実績金額	662,263		決算附属資料	281		頁
			普通徴収保険料・現年度分			普通徴収保険料			351,293			281		
			普通徴収保険料・滞納繰越分			普通徴収保険料			2,618			281		
			広域連合経費繰入金			一般会計繰入金			23,231			281		
			療養給付費繰入金			一般会計繰入金			942,896			281		
			保険基盤安定繰入金			一般会計繰入金			317,255			281		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	31	31	31					
	負担金払込件数			当初見込	31	31	31	31	31		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	京都府後期高齢者医療広域連合が示した額(負担金)の払い込み事務を期日までに行った。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
				当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	京都府後期高齢者医療広域連合が示した額を適切に納付した。 なお、本事業については確定した療養給付費の定率負担分等を納付する事業であるが、療養給付費負担金については一般被保険者の療養給付費(医療費)に対する市町村の定率負担(1/12)であり、医療費の適正化、健康寿命の延伸等を他事業により図ることで、長期的に見れば負担金額の抑制につながるることとなる。しかし、後期高齢者人口の増加や医療費の増加により、本市負担分が増加する傾向にある。
現状の課題 に対する 改善策	・京都府後期高齢者医療広域連合が示した納付金を適正に納付する。 ・後期高齢者健診や人間ドックについて、広報ふくちやまやホームページ等の媒体を活用して受診勧奨の記事を掲載し、疾病の早期発見、早期治療により重症化の防止を図るとともに、医療費の抑制を図る。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者医療保健事業						事業コード	030101420605		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03 保健事業費	項	01 健康保持増進事業費	目	01 健康診査費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	284 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R7現在の状況	継続中
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業)									
関連事業	後期高齢者人間ドック事業、お口のチェック事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業									

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 被保険者の疾病の早期発見、早期治療に資するため、後期高齢者健診(集団健診、個別健診)を実施する。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 受診率が京都府後期高齢者医療広域連合の平均を下回っており、受診率の向上が課題である。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療保険加入者に対して、疾病の早期発見、重症化予防を目的として後期高齢者健診を行うことにより、健康に対する自覚を高めるとともに健康の保持増進、QOL(生活の質)の維持・向上を図る。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 医師会と業務委託契約を行い、市内の医療機関で健康診査を受診された受診費用及び健康医療課が実施する集団健診の費用を負担。 (自己負担金:無料) 【方法】集団検診:9～12月実施。地域公民館等を利用し実施する。 個別検診:5～12月実施。医療機関等で個別に実施する。支払いは京都府国民健康保険団体連合会を通じて行う。				
対象者	後期高齢者医療保険被保険者	対象者数	13,256	単位あたりコスト	3.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	35,837		35,855		39,068		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		35,837		35,855		39,068		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	35,837		35,855		39,068		0					
決算情報	① 流充用額	△ 2,247		△ 387									
	② 配当予算	33,590		35,468									
	③ 執行額	30,301		34,542									
	④ 執行率	90.2%		97.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.95	/	0.86	0.71	/	0.00			/			
	② 概算人件費	10,008		5,680									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		40,309		40,222									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	職員給与と費等繰入金		種類	一般会計繰入金		17,304		実績金額	決算附属資料	281	頁
			健康診査事業補助金			雑入		17,238				282	
				47									

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	21	22.2	22.8			
		目標値		22.5	22.5	22.5	24.8	24.8	
	健診の受診率		達成度	%	93%	99%	101%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	10	10	10			
	広報の回数								
				当初見込	10	10	10	10	10
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者健診の受診勧奨の記事を掲載。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
			当初見込						
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・各施策を実施しているが、被保険者数が増加していることもあり、受診率の向上につながっていない。後期高齢者医療広域連合の平均を下回っており、受診率の更なる向上が課題である。新規受診者の掘り起こしや効果的な受診勧奨により健診受診者数を増やすことが重要である。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を実施中のため、関連づけて効果的な事業実施が必要となってくる。	
現状の課題 に対する 改善策	・対象が75歳以上(一部65歳以上)となっているため、受診勧奨効果は出やすいが、受診者の中で医療機関で管理中の被保険者も多く、定期的な医療機関受診の延長にとどまってしまう、本来の健診の目的である各種検査による「早期発見」「重症化予防」につながっていない場合もあり、個別受診勧奨の実施等、各種媒体を活用し広報に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	後期高齢者人間ドック事業						事業コード	030101420610		
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実			
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司			
会計情報	款	03 保健事業費	項	01 健康保持増進事業費	目	01 健康診査費	会計	19 後期高齢	決算附属資料	284 頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－			R7現在の状況	継続中
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業)									
関連事業	後期高齢者医療保健事業、お口のチェック事業									

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 被保険者の疾病及び悪性新生物の早期発見、重症化予防を目的に後期高齢者医療人間ドックを実施する。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 京都府後期高齢者医療広域連合の補助金(1件あたりの基準単価6,000円)を財源に実施しており、広域連合の動向を見極めながら実施していく必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 後期高齢者医療保険被保険者に対して、疾病及び悪性新生物の早期発見、重症化予防を目的として後期高齢者医療人間ドックを行うことにより、健康に対する自覚を高めるとともに健康の保持増進、QOL(生活の質)の維持・向上を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施機関】 医師会から指定を受けた医療機関(福知山市民病院・京都ルネス病院) 【検査内容】 基本的検診(問診・身体測定・理学的検査・血圧)尿検査・血液検査(脂質・貧血・血糖・肝機能・腎機能・尿酸)・心電図検査・腹部超音波検査・腫瘍マーカー検査・胃部検査(胃透視か胃カメラ選択)・胸部レントゲン検査・便検査(便潜血2日法) 【自己負担額】 7,400円 【実施期間】 令和6年5月7日～令和7年3月31日					
対象者	後期高齢者医療保険被保険者		対象者数	13,256	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	9,931		13,633		15,155		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		9,931		13,633		15,155		0			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	9,931		13,633		15,155		0			
決 算 情 報	① 流充用額	2,490		1,266							
	② 配当予算	12,421		14,899							
	③ 執行額	12,389		14,894							
	④ 執行率	99.7%		100.0%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.26	/	0.00	0.31	/	0.25	/			
	② 概算人件費	2,080		3,180							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,469		18,074							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	後期高齢者人間ドック事業補助金		種類	雑入		実績金額	3,000	決算附属資料	282	頁
		職員給与費等繰入金			一般会計繰入金			11,838		281	
		市町村との連携強化事業補助金			雑入			56		282	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	2.96	3.28	3.79				
	受診率	目標値		3	3	3.5	4	4		
		達成度	%	99%	109%	108%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3				
	広報の回数	当初見込		3	3	3	3	3		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者人間ドックの受診勧奨の記事を掲載。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・令和6年度は府広域連合補助は、1件あたりの基準単価6,000円であった。令和7年度も同様である。当初と比べると減額となっており、府広域連合の動向を見極めていく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	広域連合単独の補助金の動向や他市の状況を把握し、制度のあり方を検討する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	お口のチェック事業（高齢者歯科健診）										事業コード	030101420611			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実					
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611				
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課							所属長	高見 眞司					
会計情報	款	03 保健事業費		項	01 健康保持増進事業費		目	01 健康診査費		会計	19 後期高齢		決算附属資料	284・285	頁
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (京都府後期高齢者医療広域連合の補助事業)														
関連事業	後期高齢者医療保健事業、後期高齢者人間ドック事業														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 若年からの口腔ケアが、フレイル予防、健康寿命の延伸につながるため、福知山市国保被保険者(20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳)と合わせて歯科健診を実施する。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 高齢者は薬や老化の影響により摂食や嚥下等の口腔機能が低下し誤嚥性肺炎や低栄養を起こしやすい。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 高齢者は薬や老化の影響により摂食や嚥下等の口腔機能が低下し誤嚥性肺炎や低栄養を起こしやすくなることから、早期に口腔内の異常を発見し口の健康を維持するために、後期高齢者医療保険加入者を対象に歯科健診を実施し、フレイル予防・健康寿命の延伸を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 京都府丹波歯科医師会に加入している本事業の研修を受けた歯科医院において下記の健診内容を実施。 <健診内容> ①口腔内検査(歯の状況、喪失歯の状況、義歯の状況、同様歯の状況)を行ったうえで嚥下機能を評価。 ②検査の結果歯科評価を行い検査結果を本人に説明し判定区分にもとづき指導を行う。 自己負担額なし										
対象者	75歳になる後期高齢者医療被保険者					対象者数	1,272		単位あたりコスト	3.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,767		1,775		1,412		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,767		1,775		1,412		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	1,767		1,775		1,412		0					
決算情報	① 流充用額	△ 244		△ 879									
	② 配当予算	1,523		896									
	③ 執行額	911		808									
	④ 執行率	59.8%		90.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.31	/	0.00	0.37	/	0.00	/					
	② 概算人件費	2,480		2,960									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,391		3,768									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	職員給与と費等繰入金		種類	一般会計繰入金		89		決算附属資料	281		頁
			健康診査事業補助金			雑入		718			282		
				51									

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	188	150	123			
	受診人数	目標値		150	200	200	200	200	
			達成度	%	125%	75%	62%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	6	6			
	広報の回数	当初見込		5	5	6	6	6	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやま、両丹新聞等に後期高齢者歯科健診の受診勧奨の記事を掲載。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 令和6年度は受診券の送付対象を75歳の人とし、目標の受診者数は200人に設定したが、最終的には目標人数を下回った。令和7年度も引き続き丹波歯科医師会と連携しながら制度周知に努める。
現状の課題 に対する 改善策	・より多くの人に受診してもらえるよう、引き続き広報(広報ふくちやま、ホームページ、LINE等)を継続し、周知を図る。 ・丹波歯科医師会の協力歯科医療機関にポスター掲示を依頼し、制度の周知を図る。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福祉医療給付事業(老)							事業コード	030103420247					
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	121	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	老人医療助成事業費補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 65歳以上70歳未満の高齢者(所得税非課税世帯)や心身に障害ある人が安心して医療機関等に受診することができるように医療機関等での窓口負担の一部を軽減するため実施する。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 65歳以上70歳未満の高齢者(所得税非課税世帯)や心身に障害ある人の医療について、安心して医療機関等に受診できるようにするため、窓口一部負担金の一部を軽減する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 65歳以上70歳未満の高齢者(所得税非課税世帯)や心身に障害ある人の医療について、保険医療機関等での窓口一部負担金の一部を軽減することで、経済的な負担を軽減し、高齢者の健康の保持増進を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福祉医療給付(老)及び重度心身健康管理事業の運営 ①福祉医療(老)及び重度心身健康管理事業対象者の資格管理(勸奨含む) ②療養費(医療費)の支払い 等 ※マル老・・・65歳以上70歳未満で所得税非課税世帯に該当する場合、窓口一部負担金の一部を軽減する制度(3割⇒2割) ※健管・・・65歳以上の後期高齢者被保険者で一定の障害がある場合、窓口一部負担金を全額助成する制度(所得制限等あり)									
対象者	マル老及び健康管理事業対象者					対象者数	332		単位あたりコスト	46.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	17,748		18,114		17,172		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		17,748		18,114		17,172		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	6,274		6,346		6,652		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	11,473		11,767		10,518		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1		1		2		0				
決 算 情 報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	17,748		18,114								
	③ 執行額	16,872		14,155								
	④ 執行率	95.1%		78.1%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	/				
	② 概算人件費	1,280		1,280								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,152		15,435								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	老人医療助成事業		種 類	民生費府補助金		実績金額	9,953	決算附属資料	22	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	3	2			
	広報の回数	当初見込	1	3	3	3	3		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	広報ふくちやまに福祉医療制度の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・65歳以上70歳未満を対象としている制度であるが、65歳到達年度は非該当でも翌年度以降に所得減少により該当する人もあり、新たに対象となる人に対して広報誌で効果的に周知することが課題である。
現状の課題 に対する 改善策	・各種媒体(支援冊子・広報ふくちやま・ホームページ等)を利用し、効果的な制度の周知に努める。 ・令和7年度より、『福祉医療給付(老)運営事業』『後期高齢者傷病見舞金支給事業』と統合。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	重度心身健康管理事業										事業コード	030103420248				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり								施策コード	611					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課							所属長	高見 眞司						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	121・122		頁
計画期間	開始年度	昭和58年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	重度心身障害老人健康管理事業費補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 心身に障害ある高齢者が安心して医療機関等に受診することができるように医療機関等での窓口負担の一部負担金を助成するため実施する。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 障害のある高齢者は、健康者と比較しても収入が安定しないなどの課題があるため、安心して医療機関等を受診できるようにするため、窓口負担の一部負担金を助成する必要がある。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) より疾病が重度化しやすい心身に障害のある高齢者に対して、健康管理に要する費用を助成することで、重症化を防ぎ、障害者福祉の向上を図る。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 後期高齢者医療被保険者のうち、身体障害者手帳1級から4級、療育手帳A及びB、精神障害者保健福祉手帳1級から3級を交付されている人について、医療機関等の窓口で支払う自己負担金額を健康管理に要する費用として助成した。府費事業分と市費単独事業(上乗せ分)がある。 ○75歳以上の人・・・身体障害者手帳1～4級(市制度:3～4級)、精神保健福祉手帳1～3級(市制度:2～3級)、療育手帳AB(市制度:B) ○65歳以上75歳未満の後期高齢者医療保険の人 身体障害者手帳4級の一部(市制度:3～4級の一部)、精神保健福祉手帳1～2級(すべて市制度)、療育手帳A						
対象者	一定の障害がある65歳以上の後期高齢者医療被保険者(所得制限等あり)		対象者数	1,394	単位あたりコスト	82.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	134,712		129,235		115,319		0					
	② 補正予算	△ 22,000		△ 15,000		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		112,712		114,235		115,319		0					
予算財源内訳	① 一般財源	78,996		79,393		79,966		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	32,716		33,842		34,353		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	1,000		1,000		1,000		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	112,712		114,235									
	③ 執行額	108,889		109,604									
	④ 執行率	96.6%		95.9%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.36	/	0.90	0.36	/	0.90			/			
	② 概算人件費	5,400		5,400									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		114,289		115,004									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	重度心身障害老人健康管理事業		種類	民生費府補助金		実績金額	30,562		決算附属資料	22	頁
			介護合算医療費返還金			雑入			2,747			45	
			高額療養費(外来年間合算)			雑入			1,340			45	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	3	2			
	広報の回数	当初見込	1	3	3	3	3		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	広報ふくちやまに重度心身障害老人健康管理事業制度の記事を掲載。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・新たに障害者手帳の交付を受けられる方は、本事業の手続きに必要な手帳の交付を障害者福祉課で行うため、(心身に障害がある)高齢者にとっては移動が負担になる。
現状の課題 に対する 改善策	・(心身に障害がある)高齢者が手続きに来庁された際は、障害者福祉課と連携し、来庁者に負担が少ない窓口対応に努める。 ・府の制度拡充の広報について、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等に掲載を行うなど十分な周知に努める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	福祉医療給付(老)運営事業							事業コード	030103420249					
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	122	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	－			R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	老人医療助成事業費補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 65歳以上70歳未満の高齢者(所得税非課税世帯)や心身に障害ある人が安心して医療機関等に受診することができるように医療機関等での窓口負担の全額または一部を軽減するための事業の運営を行う。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 65歳以上70歳未満の高齢者(所得税非課税世帯)や心身に障害ある人が安心して医療機関等に受診できるように窓口負担の全額または一部を助成する必要がある。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福祉医療(老)及び重度心身健康管理事業を適切に運営し、65歳から70歳未満の低所得高齢者や心身に障害がある人が安心して生活できるように負担金の助成を行う。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福祉医療給付(老)及び重度心身健康管理事業の運営 ①福祉医療(老)及び重度心身健康管理事業対象者の資格管理(勸奨含む) ②療養費(医療費)の支払い 等 ※マル老・・・65歳以上70歳未満で所得税非課税世帯に該当する場合、窓口一部負担金の一部を軽減する制度(3割⇒2割) ※健管・・・65歳以上の後期高齢者被保険者で一定の障害がある場合、窓口一部負担金を全額助成する制度(所得制限等あり)				
対象者	マル老及び健管事業対象者		対象者数	1,726	単位あたりコスト 1.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	京都電子計算株式会社				
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容		費目 実績(R6) 主な業務内容
	需用費	164	PPC用紙等、受給者証・限度額適用認定証等		
	役務費	342	郵送料		
	委託料	503	システム改修業務、改修保守業務		

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	986		1,091		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		986		1,091		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	626		779		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	359		311		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	1		1		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	986		1,091							
	③ 執行額	789		1,009							
	④ 執行率	80.0%		92.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,920		1,920							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,709		2,929							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	老人医療助成事業施行事務費		種類	民生費府補助金		実績金額	290	決算附属資料	22	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	3	2			
	広報の回数								
	当初見込			1	3	3	3	3	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	広報ふくちやまに福祉医療制度、重度心身障害老人健康管理事業制度の記事を掲載。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・高齢者への医療費を助成する事業を実施するために必要な経費である。 ・複雑な制度であるため、職員のスキルアップが課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	・係での業務研修を実施することにより、制度に対しての理解を深めるとともに経費の削減に努め、適切な事業執行を図る。 ・令和7年度より、『福祉医療給付事業(老)』に統合。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業							事業コード	030103420615					
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実						
	施 策 名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり						施策コード	611					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料	122・123	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第2次福知山市健康増進計画、第10次福知山市高齢者保健福祉計画、			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、健康保険法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 (京都府後期高齢者医療広域連合からの委託事業)													
関連事業	「後期高齢者保健事業」「特定健康診査事業」「糖尿病重症化予防事業」「介護予防普及啓発事業」「地域介護予防活動支援事業」													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 75歳以上の高齢者に対する保健事業を、市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう高齢者の医療の確保に関する法律等の改正がされ、本市では令和3年4月から実施している。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するといった心身の多様な不調をきたすため、きめ細やかな支援が必要である。 ・事業対象者について、主に後期高齢者健診の受診者から選定しているため、健診の受診率を維持または上げていく必要がある。 ・市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らせるよう、自ら健康づくり・介護予防に取り組めるよう啓発・支援していく必要がある。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 心身の多様な不調をきたす高齢者に対して、介護予防と保健事業を一体的に実施し、きめ細やかな支援を行うことで、住み慣れた地域で自立した生活ができる期間の延伸、QOLの維持向上を図ることを目的とする。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【高齢者に対する個別支援(ハイリスクアプローチ)】 ①低栄養、高血圧予防等の取組(健診結果より把握、面談実施) ②口腔機能低下ハイリスク者への支援 ③健康状態不明者の状態把握、健診受診勧奨(アンケート調査郵送、未返送者等に訪問実施) 【通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ)】 ①フレイル予防の普及啓発、健康教育や健康相談の実施 (高齢者に対するフレイル予防、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援、健診や医療の受診勧奨、介護サービスの利用勧奨)						
対象者	後期高齢者被保険者			対象者数	13,256	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	691		677		579		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		691		677		579		0						
予算財源内訳	① 一般財源	80		19		83		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	611		658		496		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	691		677										
	③ 執行額	422		646										
	④ 執行率	61.1%		95.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.04	/	0.59	0.79	/	0.00			/				
	② 概算人件費	9,972		6,320										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,394		6,966										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	後期高齢者医療広域連合保健事業委託金		種類	雑入		581		実績金額	決算附属資料	47		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	76.4	67.2	75.8				
		目標値		80	80	80	90	100		
		個別支援後の生活改善率	達成度	%	96%	84%	95%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	34	61	66				
		個別支援実施者数		当初見込	40	45	50	55	60	
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・後期高齢者健診の受診勧奨啓発 ・健診結果返し時、対象者への丁寧な面談と事後フォロー確認 ・高齢者の通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ・普及啓発)								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・フレイル予防にオーラルフレイル予防は重要とされており、令和5年度より新たに口腔機能ハイリスク者への支援を開始でき、歯科医師会からの助言を受けて支援内容を検討することができ、実施結果について報告すると同時に次年度の支援内容に反映できるよう、再度助言をいただく予定にしている。 ・ポピュレーションアプローチは新型コロナ以後、中止、延期しているサロンもあったが、徐々に依頼数が伸びている現状。市が実施する介護予防教室では保健師、栄養士、歯科衛生士がそれぞれの専門性を生かした内容を、短時間で回数を増やして講話を実施した。機会あるごとに啓発をするより効果的であるため、実施時期や回数、内容は今後も検討事項である。 ・令和5年度に比べ、早めの準備周知を行ったが、健康状態不明者等の状況把握訪問等実施開始時期に地域差があった。可能な範囲で市全体で早めに取り組めるように計画等検討していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策		
	・個別支援のなかでも健康状態不明者の状況把握はフレイル予防啓発と同時に健診の受診啓発も行っているため、健診実施期間中に多くの地域で実施ができるよう早めの計画を立てる。そうすることで、ひいては健診受診率の向上につながる。 ・地域支援コーディネーターとの同伴訪問をすることでスムーズに関係機関との連携が取れるケースもあり、コーディネーターの地域活動にも生かされるため、今後も同伴訪問は継続する。 ・ポピュレーションアプローチは地域でのサロン等で実施できるよう関係団体への働きかけなどを行っていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	国民年金事務事業						事業コード	030105450276						
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち				政策目標	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実							
	施策名	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり					施策コード	611						
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 眞司							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	05 国民年金事務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	126	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－		R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	国民年金法 ほか													
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (協力・連携事務)													
関連事業	－													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民年金に係る法定受託事務と国との協力・連携事務を実施し、国民年金制度の安定した運営に寄与する。 国民年金第1号被保険者数は減少傾向にある。(第1号被保険者数:令和6年3月末 6,391人 令和7年3月末 6,254人)							
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市民の国民年金制度への理解を深めていただき、制度未加入や保険料の未納を防ぐため、日本年金機構と協力・連携をとりながら加入者数、納付率の向上を目指す。							
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 国民年金制度において、加入期間不足等により高齢者の主たる収入である老齢年金を受給できない人を減らし、安定した年金収入により高齢者が安定し暮らせることを目指す。							
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・離職や扶養が非該当となった市民に適切に窓口対応をし、加入の案内を行う。 ・国民年金保険料の納付が困難な市民へは、リーフレット等により保険料の免除制度を説明すると同時に、保険料の追納の案内も行う。 ・国民年金制度の周知のために、広報ふくちやまに毎月年金の関連記事を掲載する。 ・日本年金機構からの制度への未加入者、保険料の未納者について情報照会の依頼があった場合は、積極的に回答し、納付率の向上を図る。 ・老齢、遺族、障害年金の請求相談が市民からあった際は、法定受託事務以外についても日本年金機構と連携し、相談者の年金受給につなげる。							
対象者	国民年金第1号被保険者(任意加入を含む)		対象者数	6,254	単位あたりコスト	3.5		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()							
委託先・実施主体等								
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容		費目	実績(R6)	主な業務内容	
	需用費	324	用度物品・PPC用紙・プリンター用具・事務用品					
	役務費	109	電話料・郵送料					
	使用料及び賃借料	188	コピー機賃借料					
	備品購入費	12	デバイスサーバ					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	741		728		621		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		741		728		621		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	741		728		621		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	741		728							
	③ 執行額	572		634							
	④ 執行率	77.2%		87.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/全計年度任用職員)	3.30	/	1.00	2.31	/	1.00	/			
	② 概算人件費	29,200		21,280							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		29,772		21,914							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	基礎年金等事務費		種類	民生費国庫委託金		実績金額	634	決算附属資料	20	頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	100		82	82.4	82.8			
			目標値			100	100	100	100	100	
	国民年金保険料の納付率の向上		達成度	%		82%	82%	83%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回		12	12	12			
	広報ふくちやまへの国民年金記事掲載月数		当初見込			12	12	12	12	12	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
		広報ふくちやまに、国民年金保険料(金額)・お得な納付方法・追納等の国民年金記事を掲載することにより、市民が国民年金に関心が持てるようにする。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 福知山市における国民年金保険料(現年度分:令和6年度分)の納付率は82.8%となり、全国平均の78.6%を上回っている。これは、これまでの啓発活動や関係機関との連携強化等の取組による成果といえる。一方で、依然として目標値には達しておらず、引き続き課題が残されている。								
現状の課題 に対する 改善策	少しでも国民年金保険料の納付率を上げるために、①生活保護担当課と連携して生活扶助決定者に法定免除の案内を行う。②日本年金機構との協力・連携により未納者、未加入者の増加を防ぐなどの対応策をとる。								